

最近の経済動向

平成27年8月号

(平成27年6月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

〔需要動向（消費・投資）〕

- P 1 ■個人消費 ~ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ~ 持ち直しの動きがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ~ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ~ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入 ~ 輸出額は、前年を上回り、輸入額は前年を下回った
輸出入額

〔生産動向〕

- P 5 ■生産活動 ~ 一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ~ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも増加した
倒産件数
負債総額

〔雇用動向〕

- P 7 ■求人・求職 ~ 緩やかに改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

〔物価動向〕

- P 8 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

〔企業情報〕

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

〔地域の経済動向〕

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

〔景気動向指数・全国の景気〕

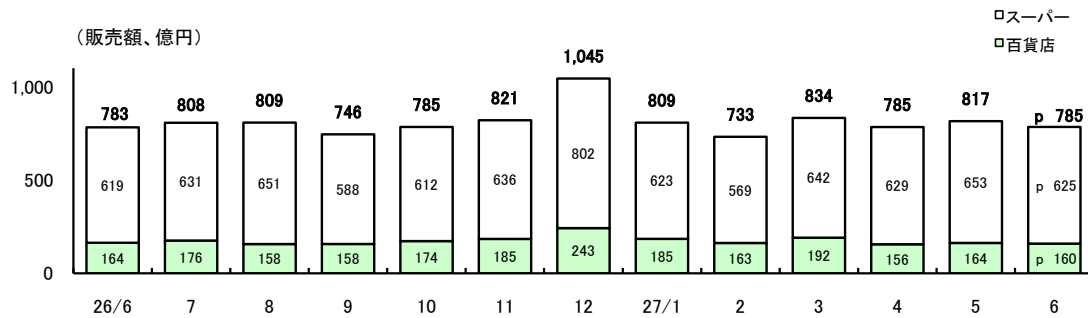
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

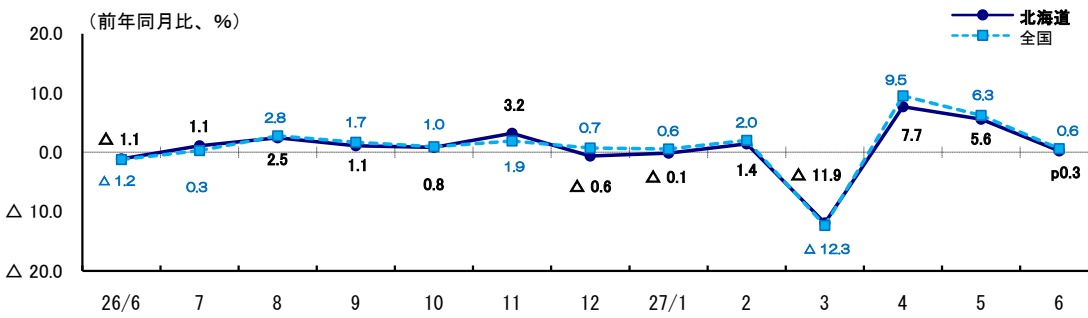
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆大型小売店(全店)販売額(6月)◆

大型小売店販売額は、785億円で前年同月比0.3%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



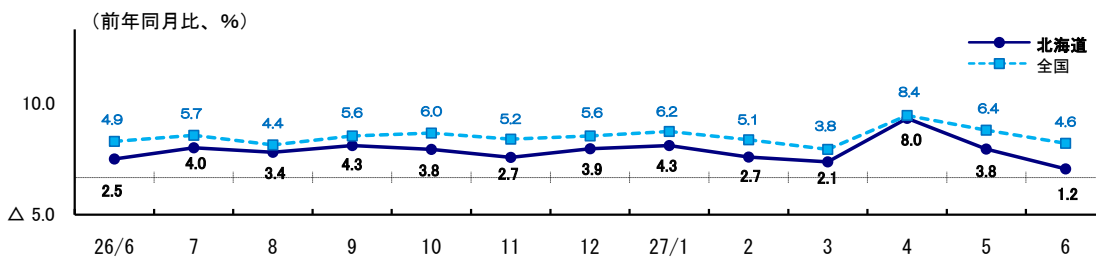
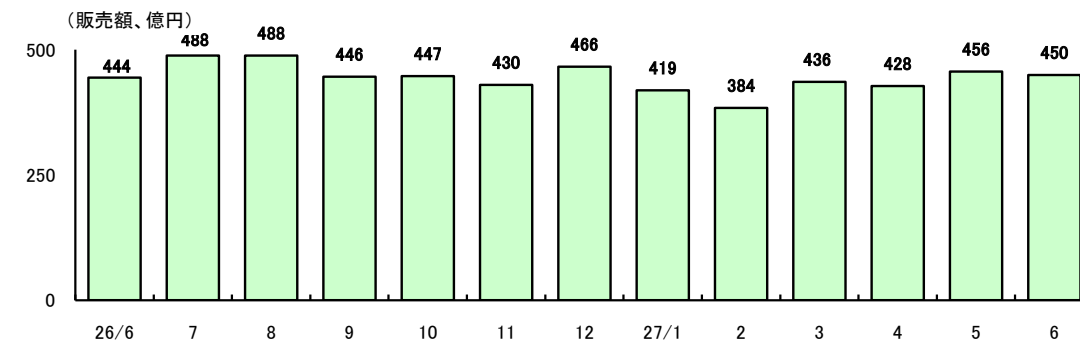
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(6月)◆

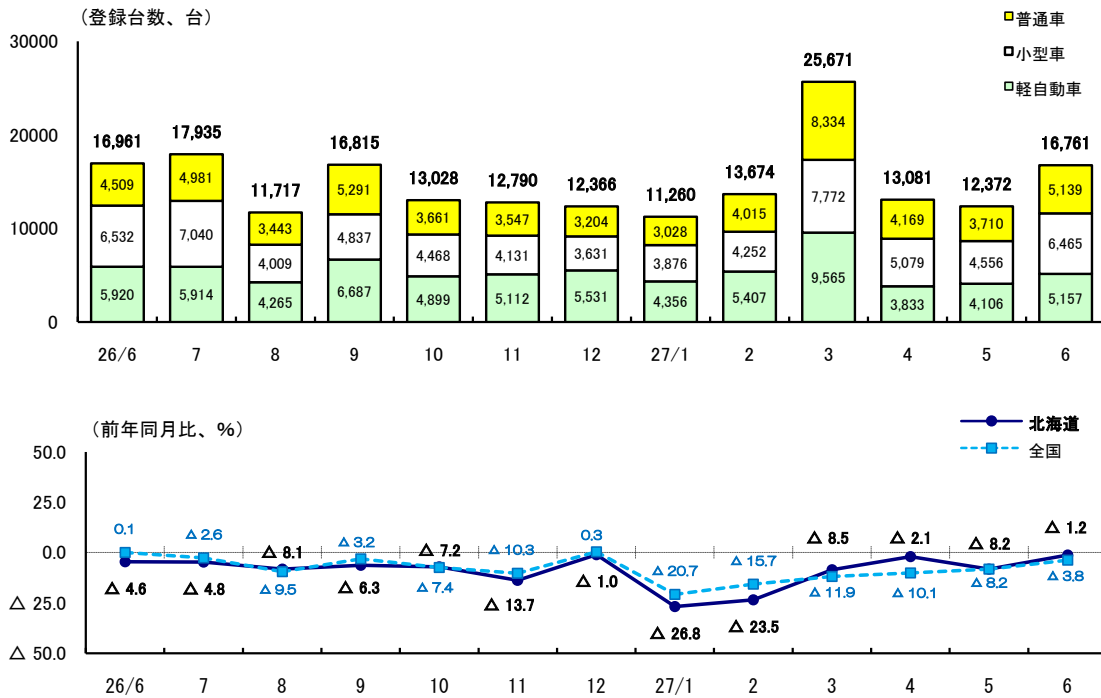
コンビニエンスストア販売額は、450億円で前年同月比1.2%の増加となり、21か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（6月）◆

新車登録台数は、16,761台で前年同月比1.2%の減少となり、15か月連続で前年を下回った。

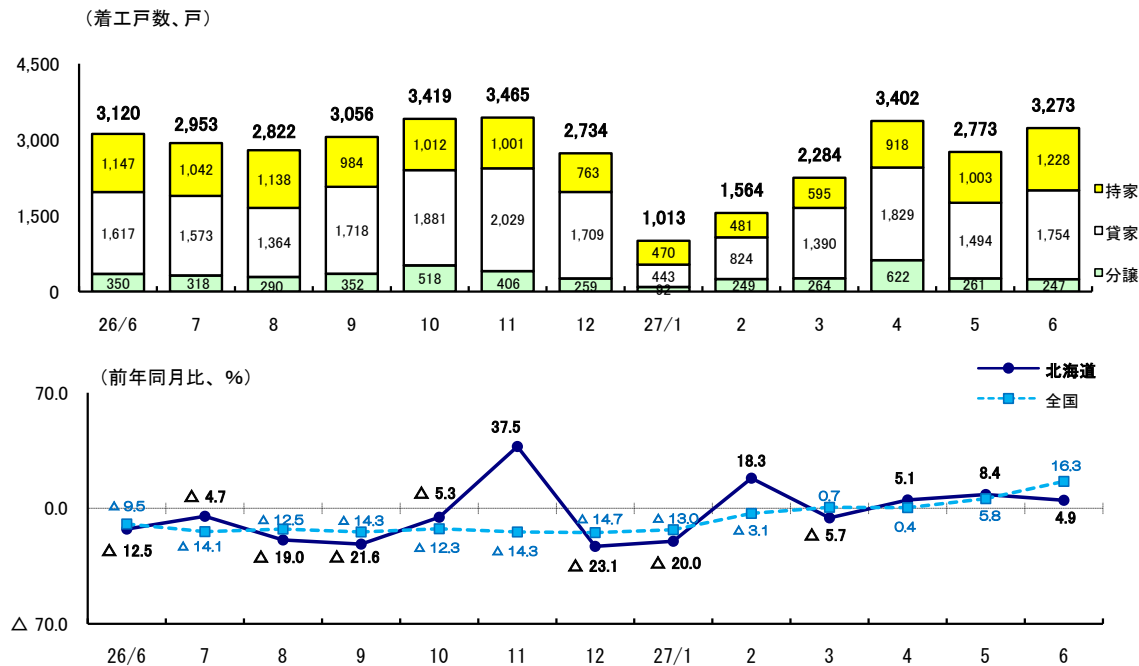


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ~ 持ち直しの動きがみられる

◆新設住宅着工戸数（6月）◆

総戸数は、3,273戸で前年同月比4.9%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

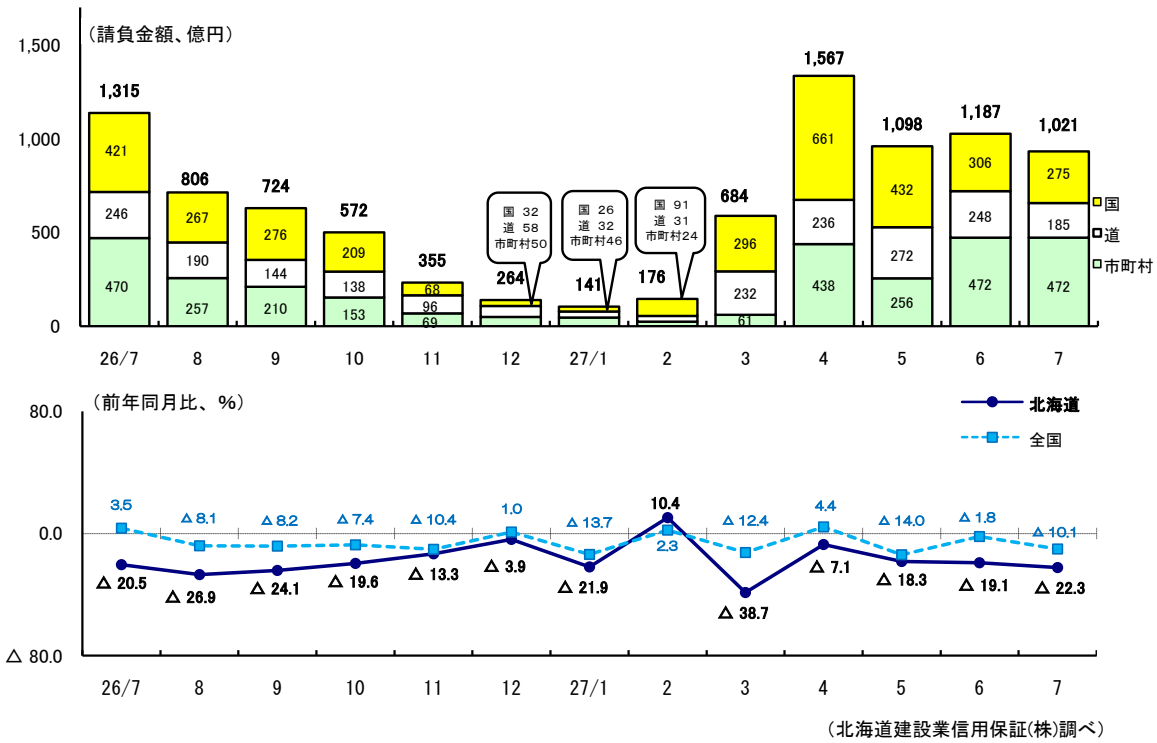


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～ 減少している

◆公共工事請負金額（7月）◆

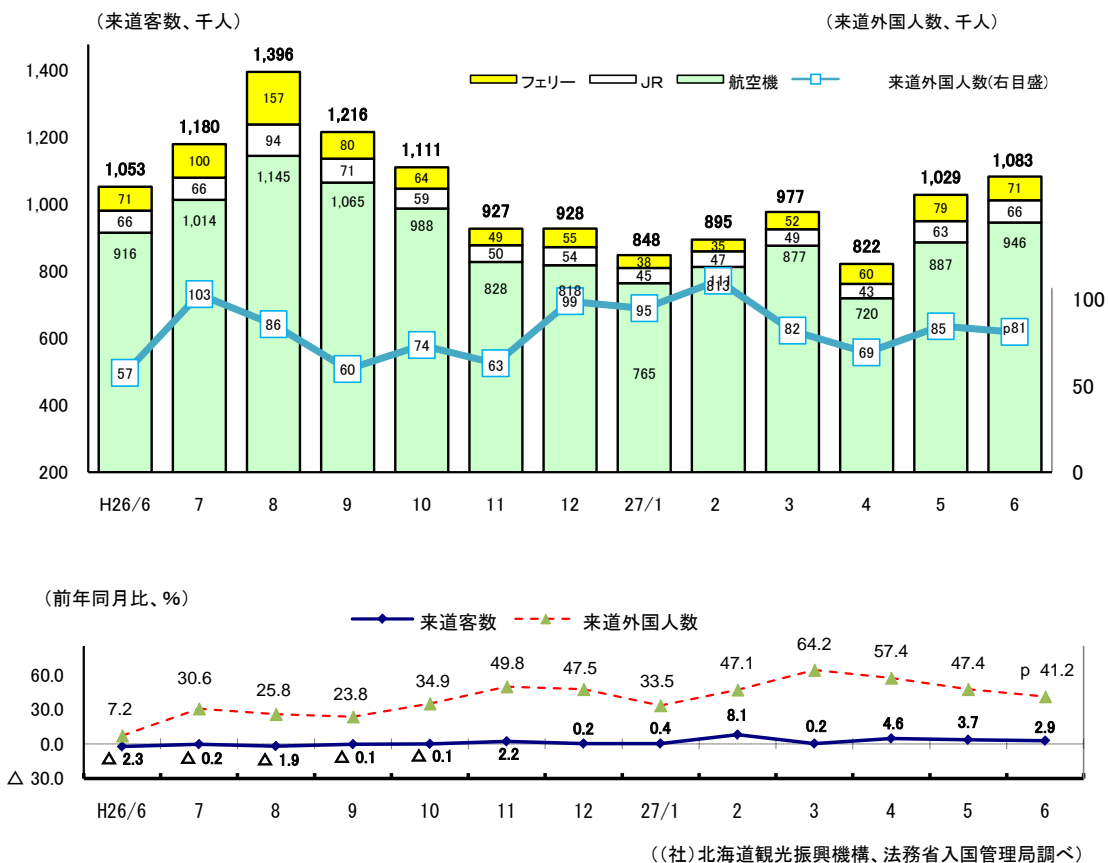
請負金額は、1,021億円 で前年同月比22.3%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。



■観光～ 改善している

◆来道者数（6月）◆

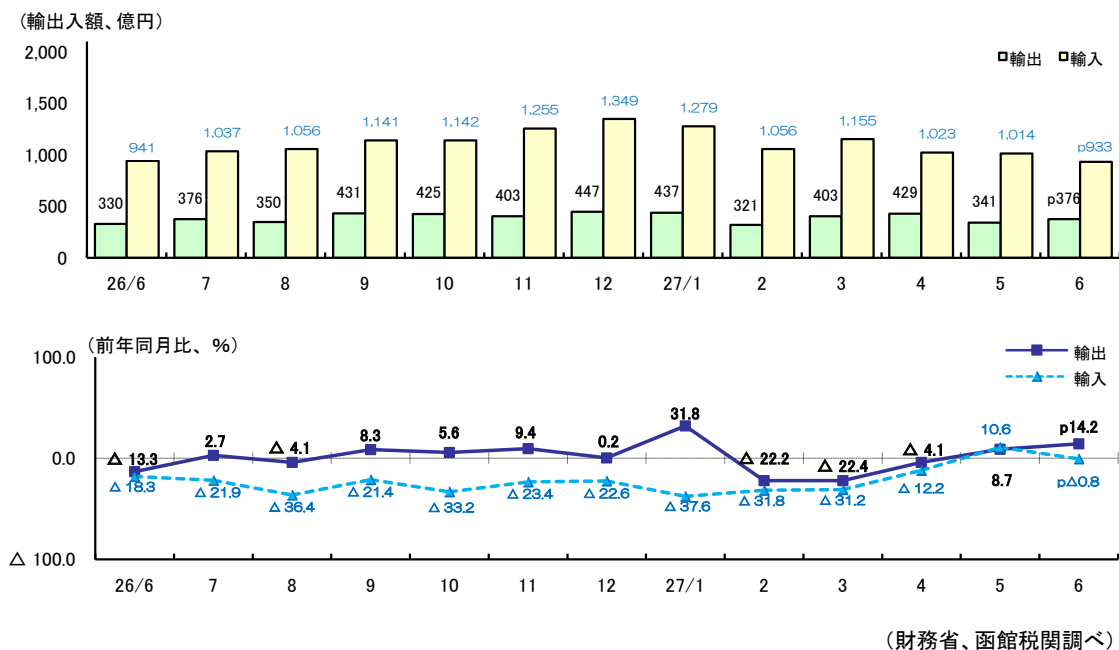
来道者数は、108万3千人で前年同月比2.9%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、8万1千人で同41.2%の増加となり、29か月連続で前年を上回った。



■輸出入～ 輸出額は、前年を上回ったが、輸入額は前年を下回った

◆輸出入額（6月）◆

輸出額は、376億円で前年同月比14.2%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。
 輸入額は、933億円で同0.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

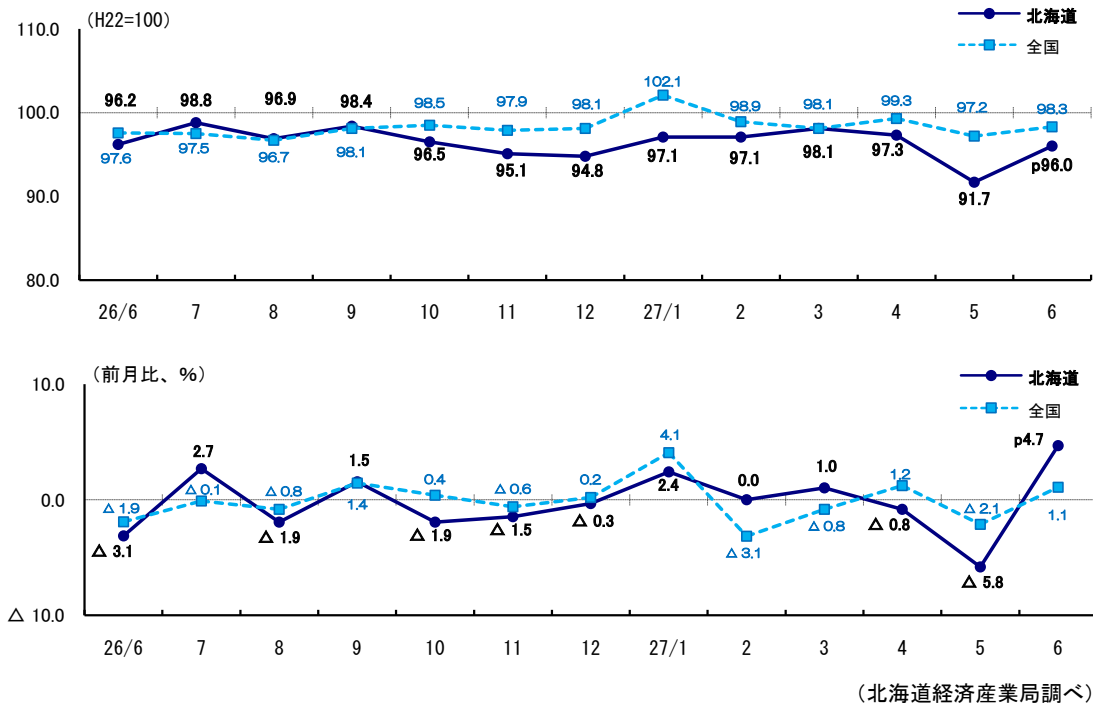


[生産動向]

■生産活動～ 一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる

◆鉱工業生産指数（6月）◆

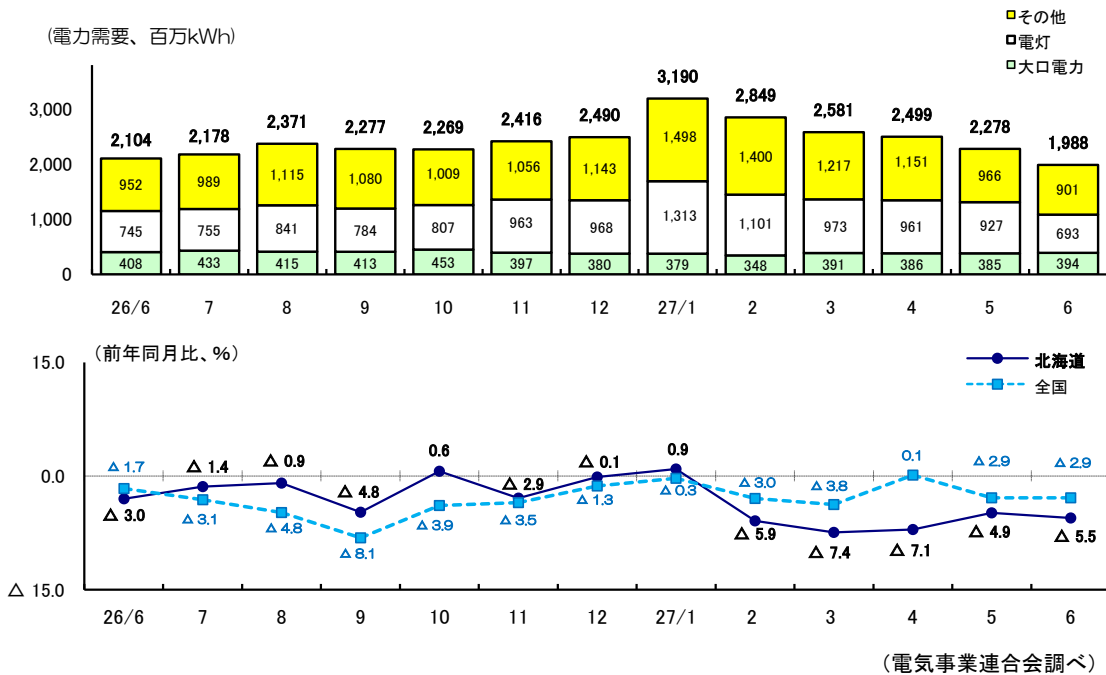
鉱工業生産指数（季節調整済）は、96.0で前月比4.7%の増加となり3か月ぶりに前月を上回った。



■電力～ 前年を下回った

◆電力需要（6月）◆

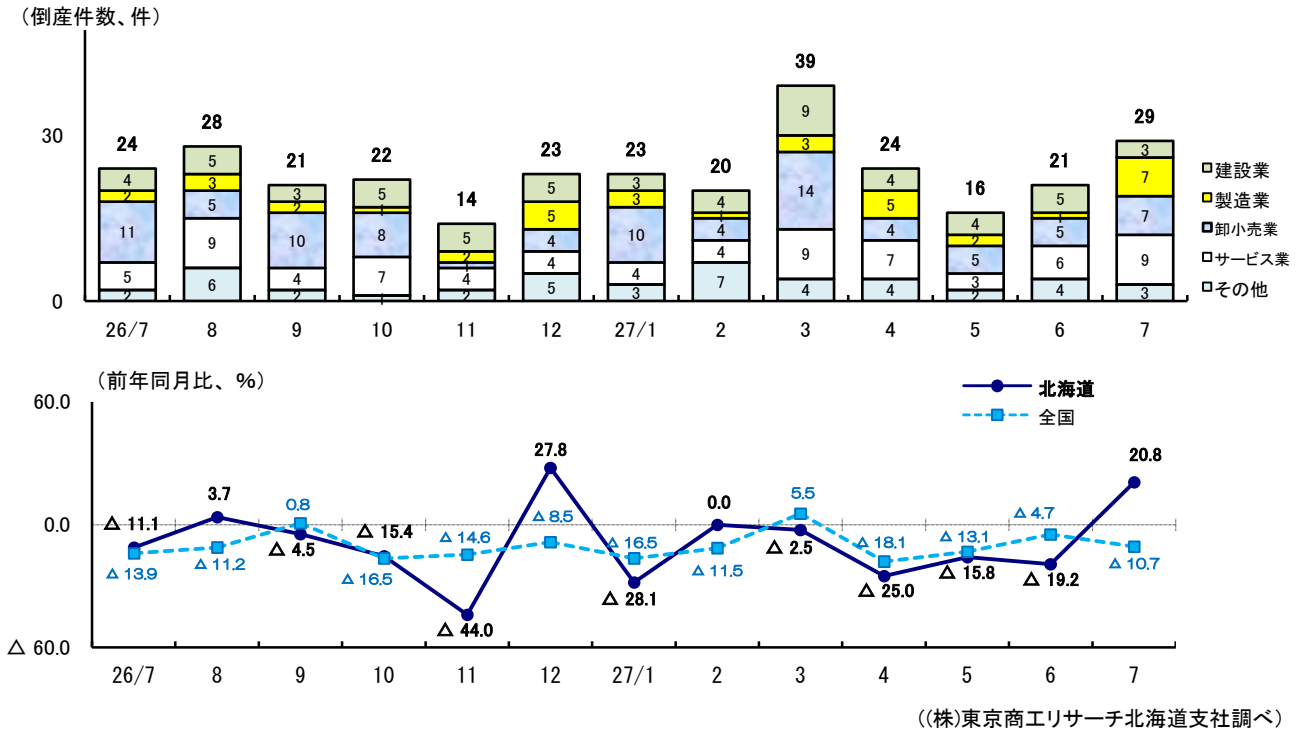
電力需要は、1,988百万kWhで前年同月比5.5%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した

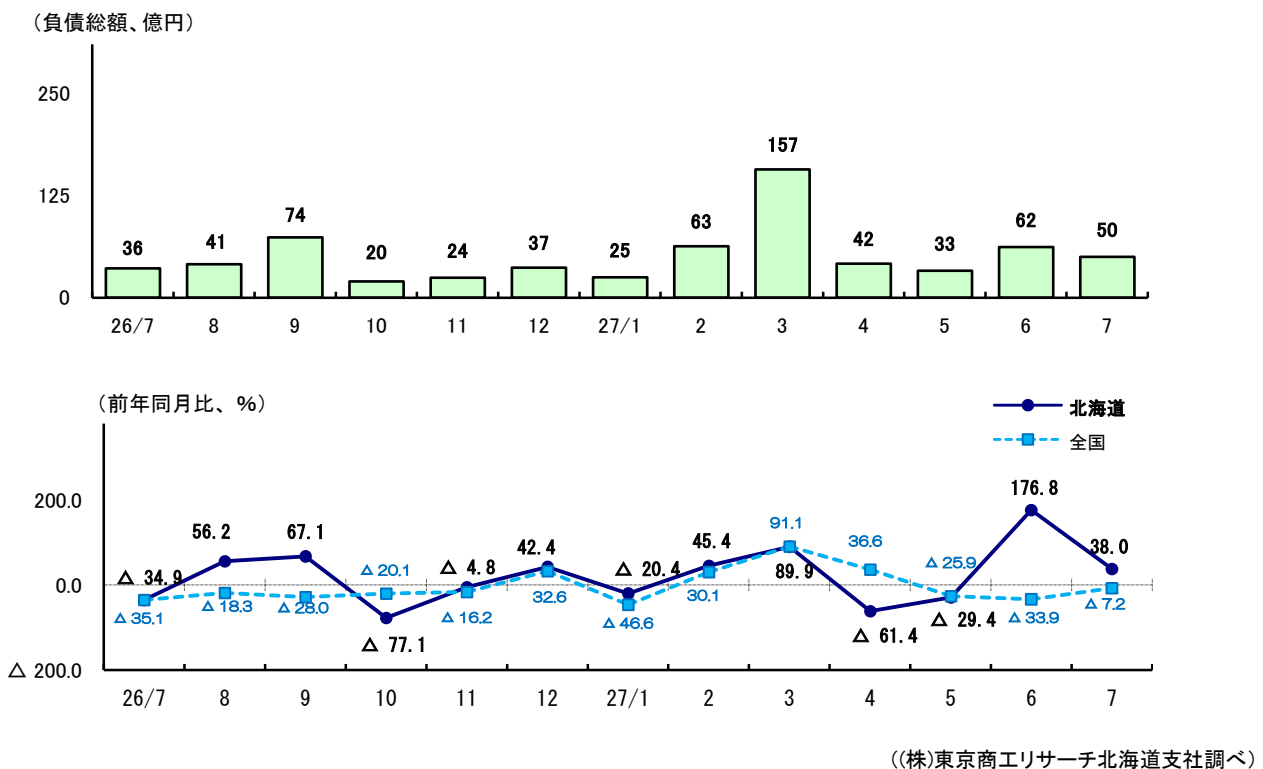
◆企業倒産件数（7月）◆

企業倒産件数は、29件で前年同月比20.8%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。



◆負債総額（7月）◆

負債総額は、50億円で前年同月比38.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

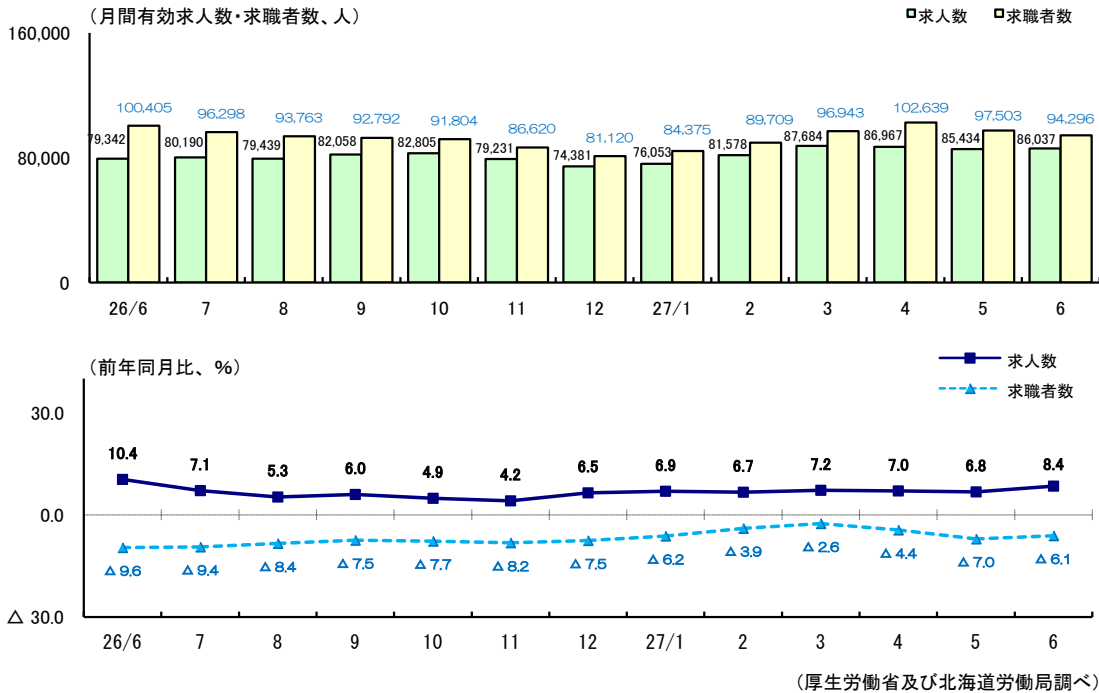


[雇用動向]

■求人・求職～ 緩やかに改善している

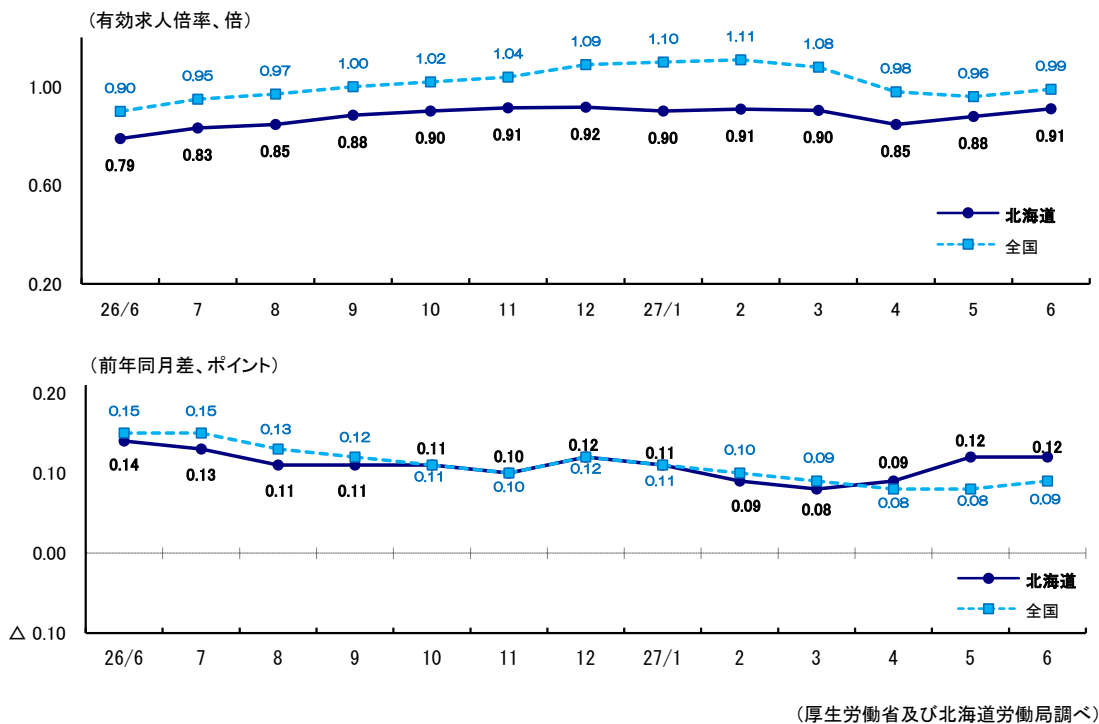
◆月間有効求人数・求職者数（6月）◆

月間有効求人数は、8万6,037人で前年同月比8.4%の増加となり、65か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、9万4,296人で同6.1%の減少となり、44か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（6月）◆

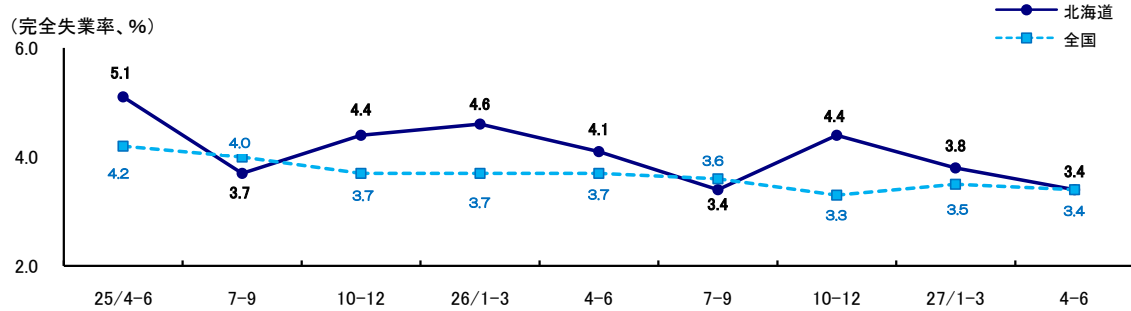
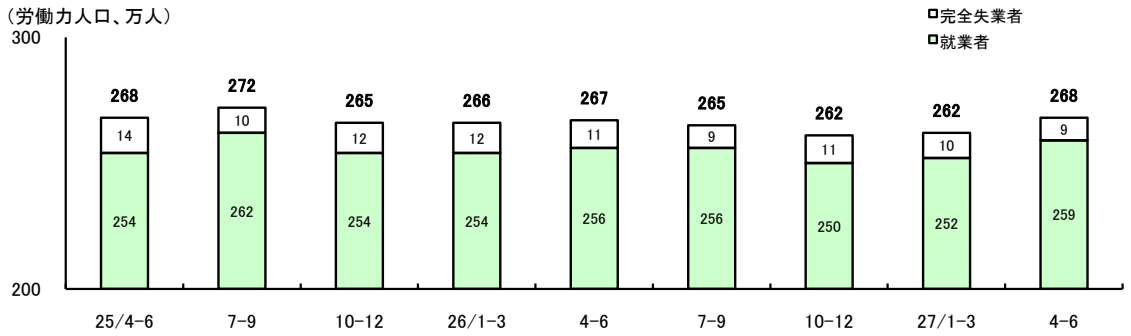
有効求人倍率は、0.91倍で前年同月差で0.12ポイントの増加となり、65か月連続で前年を上回った。



■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年4-6月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と比べ2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.4%で前年同期から0.7ポイント低下した。



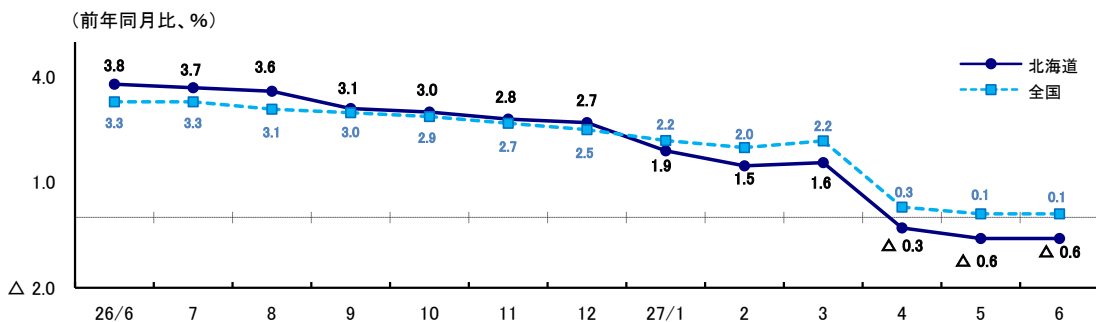
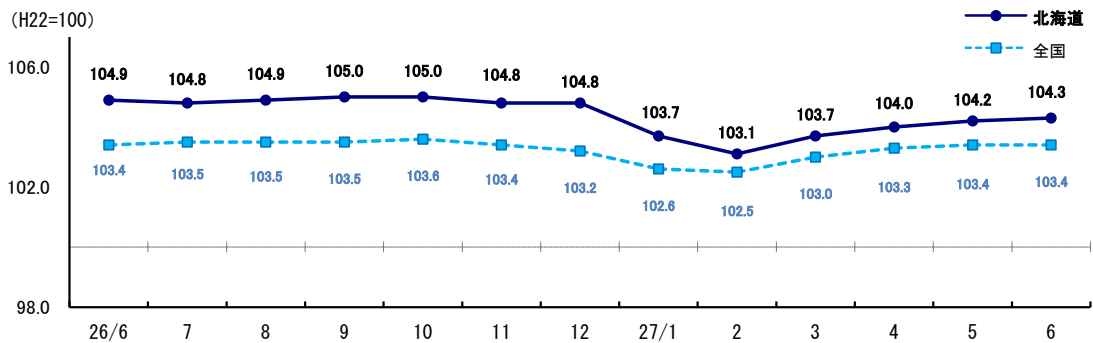
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（6月）◆

消費者物価指数は、104.3で前年同月と比べ0.6%の低下となり、3ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【売上は堅調に推移】

前年は6月末のスタートだった夏のクリアランスセールが本年は7月スタートとなったことにより、婦人服や紳士服など主力商品の売上げが前年に比べ増加した。

また、インバウンドの顧客の増加や外商に力を入れていたことにより前年同月と比べて売上が1割以上伸びた。

一方、ギフト商品については動きが鈍く、ほぼ横ばいで推移した。

【海外ブランドなどは引き続き好調】

インバウンドの顧客については、特に中国の顧客を中心に、海外ブランドの高級時計や国産高級化粧品などが好調で、売上は昨年同月比で3倍強の伸びとなった。

今後もインバウンドのいわゆる「爆買い」により、前年より大幅に増加することを期待している。

◆スーパー(道央圏)

【売上は堅調】

7月は、気温は高めで日照時間も多かったため、来店客数は前年同期に比べ増加した。

部門別の売上では、干ばつなどの影響で価格が高かった葉物・根菜などの野菜類、鶏肉・牛肉などの肉類、弁当などのデリカ部門など総じて堅調だった。

特に土用丑の日については、予約と関連商品の販促を強化したため好調だったが、グロサリー系商品の価格へのお客様の反応等をみると節約志向が継続していると思われる。

◆スーパー(釧路・根室圏)

【売り上げは横ばいで推移しているものの厳しい環境】

今年に入ってから売り上げは、前年と比べると横ばいで推移しているものの、物価の上昇と店頭価格の乖離が起きているため、収益は悪化している。

それに加え、消費税増税の影響により、食費が抑えられる傾向があり、買い控えが1年以上続いているなど、厳しい状況が続いている。

また、道央圏から離れているため、商品の輸送にかかるコストも大きな負担となっている。

【基幹産業の動向に注目】

サケ・マス売り上げ構成比は大きくないが、ロシア200カイリ水域内でのサケ・マス流し網漁禁止の影響がないとはならない。

基幹産業である水産業の衰退は、管内の景気を後退させ、消費活動にも大きな影響が出てくることは間違いないと考えている。

【人材の確保が今後の課題】

人材については慢性的に不足しており、近頃、募集をかけても1人の応募も無い時がある。

これから、正社員の定年時期を迎えることとなるが、退職した後の人材確保(穴埋め)が課題である。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

7月は、前年の同月と比べると来客数は減少したものの客単価が上昇したため、売上高は増加した。気温があまり上がらなかったため夏型商品が苦戦する中、新商品が好調のミネラルウォーターやキャンペーンにより販売を促したアイスについては、順調に売上を伸ばしたほか、温かいインスタント麺やカップ麺についても売上高は増加した。

年金や給料等の支給日に、タバコや米等ストックできるものをまとめて購入する傾向が強まっている。

◆水産食料品製造業(釧路・根室圏)

【水産加工を取り巻く厳しい環境】

加工の主力は前浜産の水産物となるが、通年で工場を稼働させるため、輸入物も扱っている。

全体に占める輸入の割合は、6～7割となっている。特に、近頃では、今年度でのロシア流し網の禁漁、海外や内地の加工用原料のニーズと競合するため、その影響で浜値が上がる傾向にある。

商品には、鮭鱒・秋鮭の塩蔵・加工品、魚卵製品などがある。

特に加工品については、商品の値頃感から価格の変動はあまりなく、浜値が上がっても商品に価格転嫁することは難しい。

【将来を見据えた設備投資】

商品加工については、何に加工するか(同じ魚種でも雌と雄、サイズによって作るものが異なる)で、工程が違ふことから、それぞれの魚種、加工内容毎に対応した機械が必要であり、新たな機械を導入する際には、今後、取り扱う水産物まで見据えた選択が求められるため、慎重にならざるを得ない。

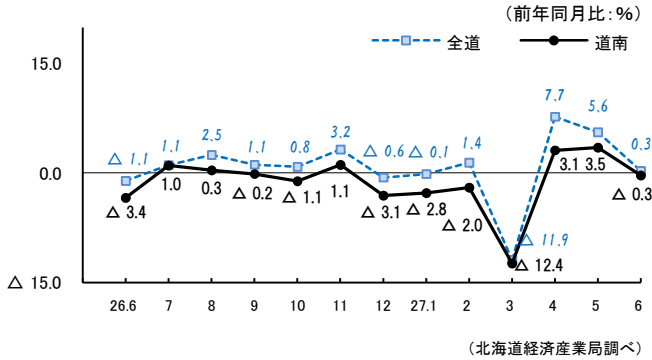
【人材の確保】

相対的な人手不足に加え、高齢化も進んでいることから、若い人へのノウハウの引き継ぎも難しい。人を雇い入れたいが、水産業を取り巻く環境の変化によっては、一時的に業界での雇用維持が厳しくなる可能性もでてくる。

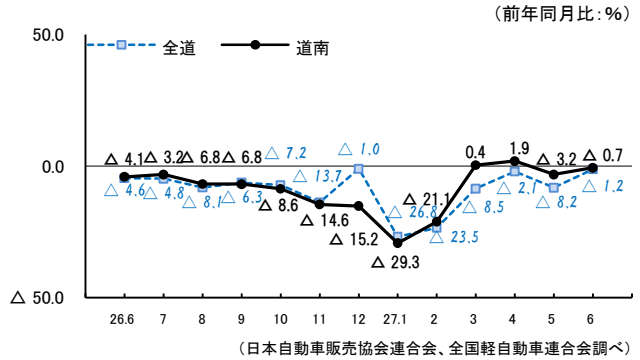
[地域の経済動向]

■道南圏

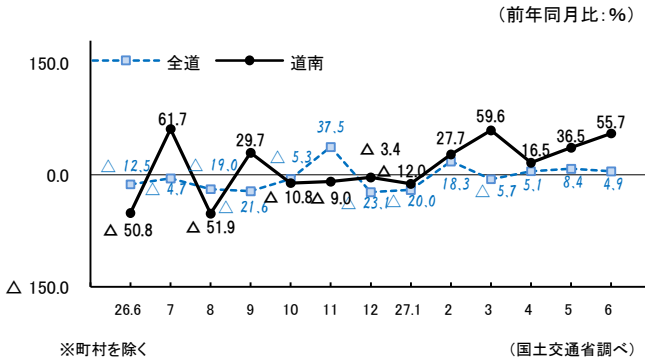
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (6月)◆
3か月ぶりに前年を下回った



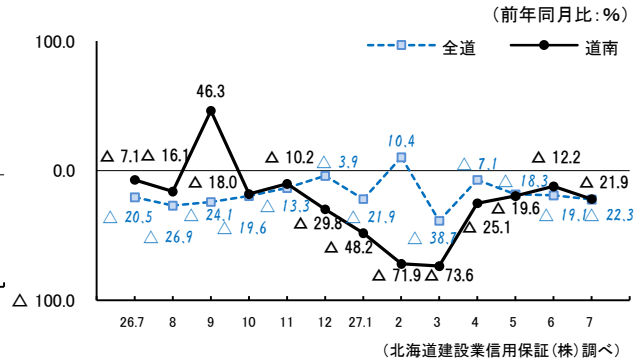
◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆
2か月連続で前年を下回った



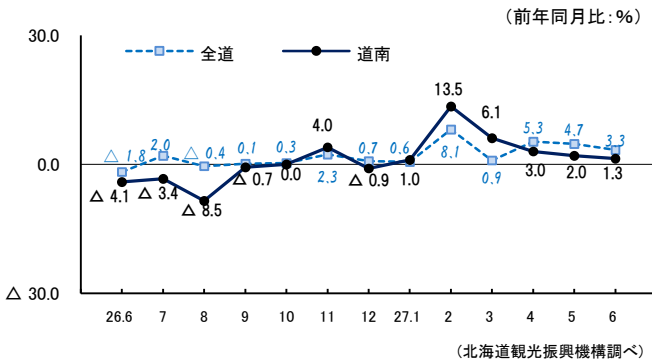
◆新設住宅着工戸数 (6月)◆
5か月連続で前年を上回った



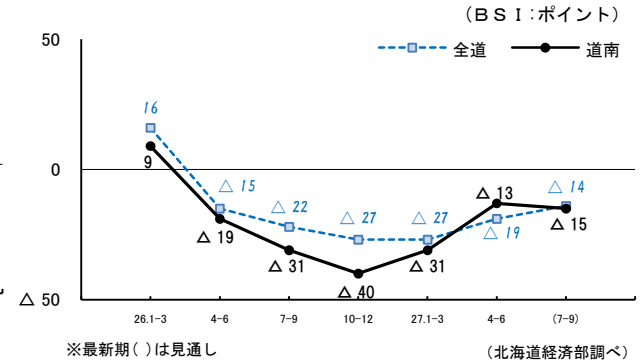
◆公共工事請負金額 (7月)◆
10か月連続で前年を下回った



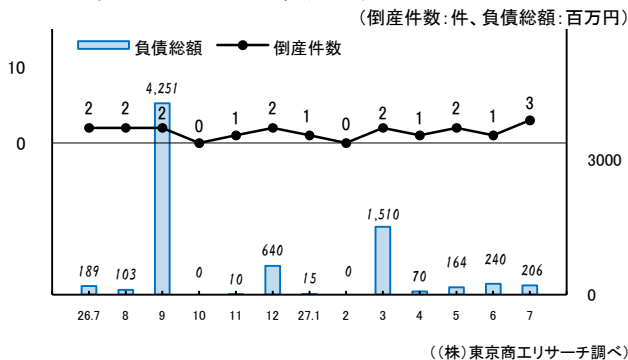
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆
6か月連続で前年を上回った



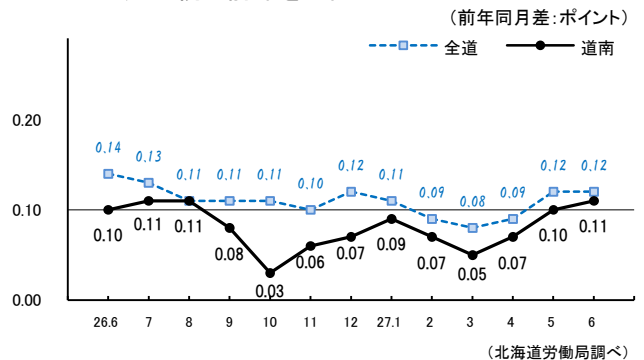
◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額 (7月)◆
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



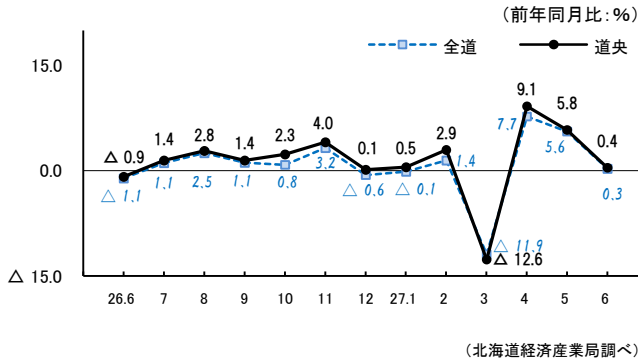
◆有効求人倍率 (6月)◆
62か月連続で前年を上回った



■道央圏

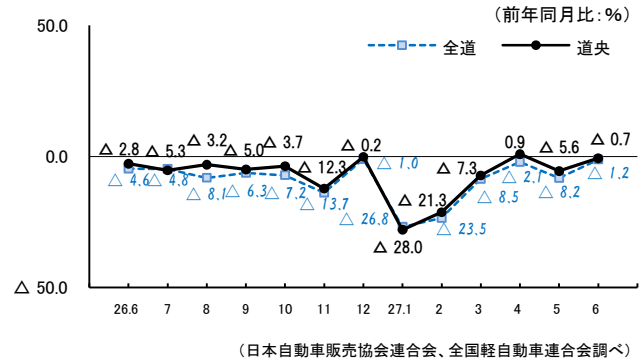
◆大型小売店販売額（6月）◆

（全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市）
3か月連続で前年を上回った



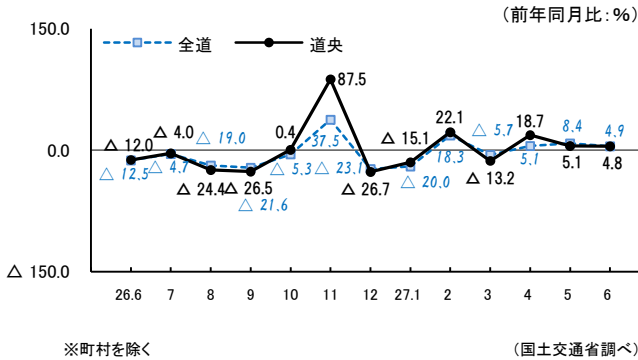
◆新車登録台数(乗用車)（6月）◆

2か月連続で前年を下回った



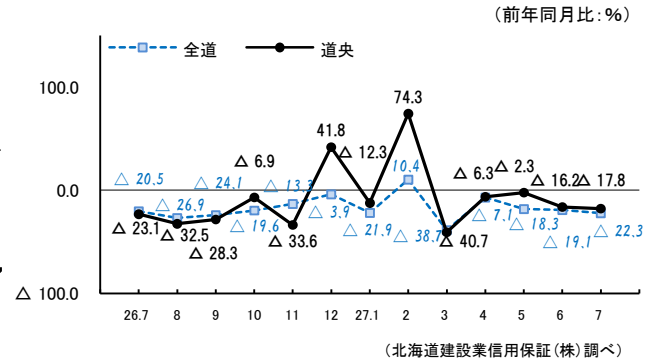
◆新設住宅着工戸数（6月）◆

3か月連続で前年を上回った



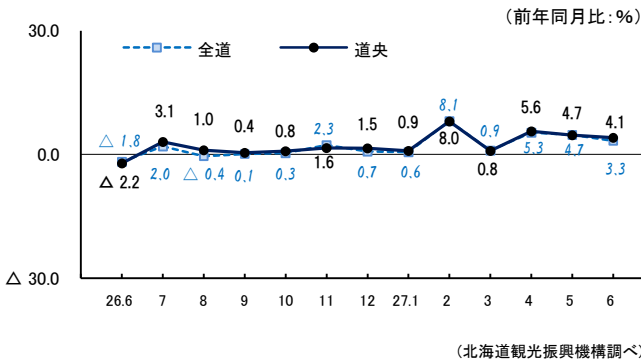
◆公共工事請負金額（7月）◆

5か月連続で前年を下回った



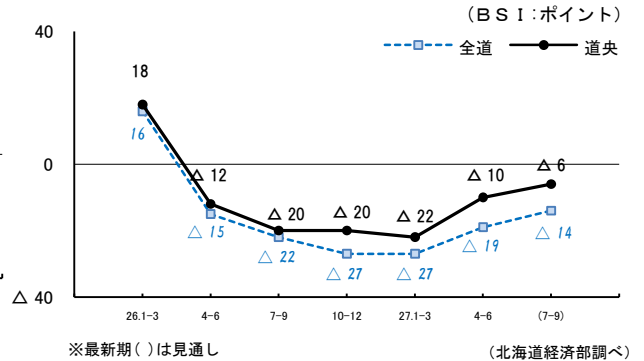
◆航空機利用による来道者数(着地別)（6月）◆

12か月連続で前年を上回った



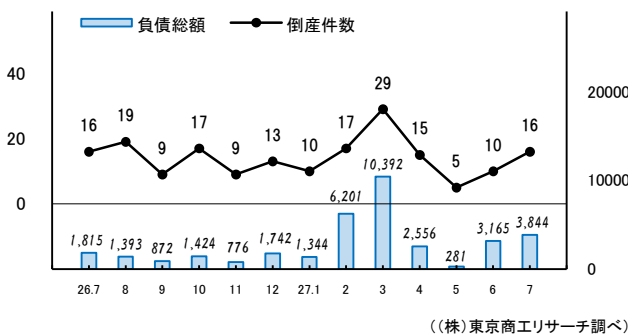
◆企業の業況感（4-6月期）◆

前期からマイナス幅が縮小した



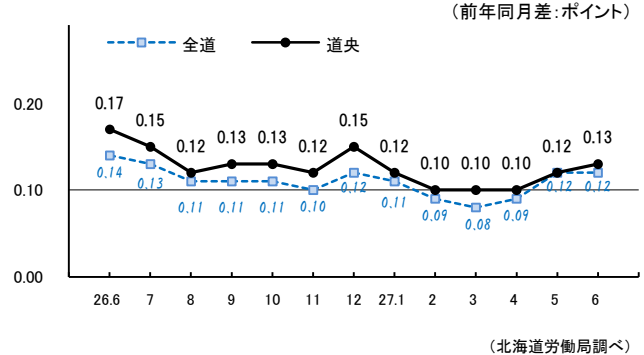
◆企業倒産件数・負債総額（7月）◆

10億円以上の大型倒産が1件発生した
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



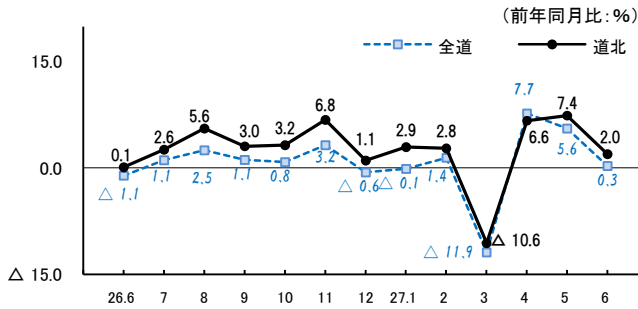
◆有効求人倍率（6月）◆

64か月連続で前年を上回った



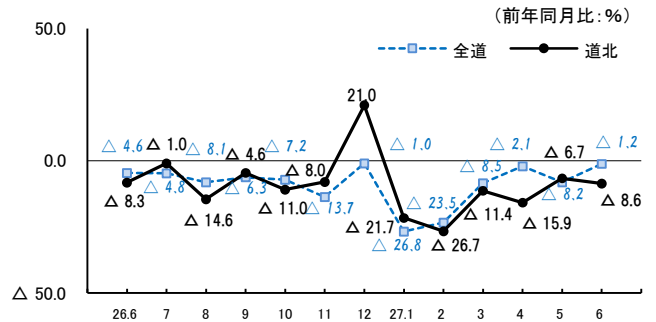
■道北圏

◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (6月)◆ 3か月連続で前年を上回った



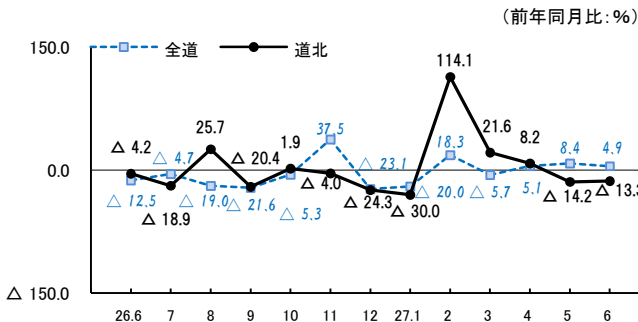
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆ 6か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

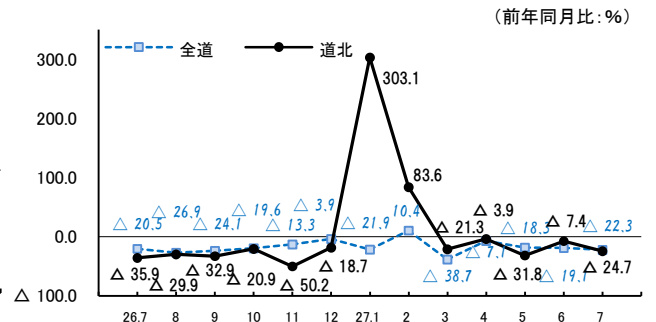
◆新設住宅着工戸数 (6月)◆ 2か月連続で前年を下回った



※町村を除く

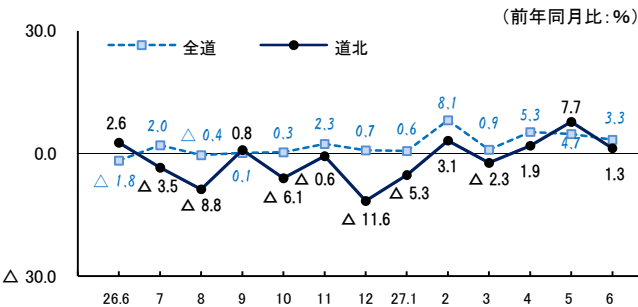
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (7月)◆ 5か月連続で前年を下回った



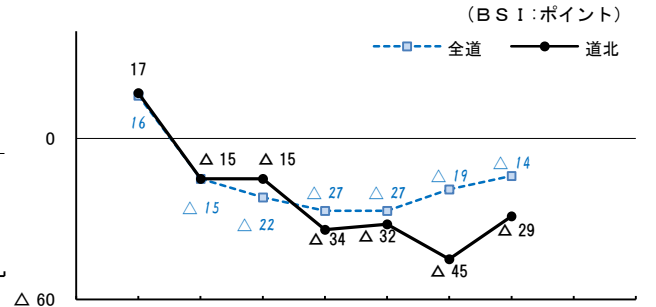
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆ 3か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

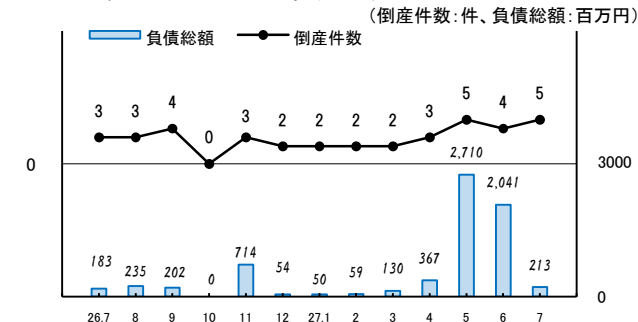
◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

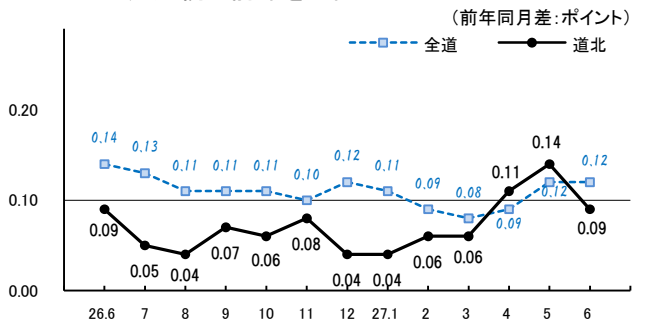
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (7月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (6月)◆ 66か月連続で前年を上回った

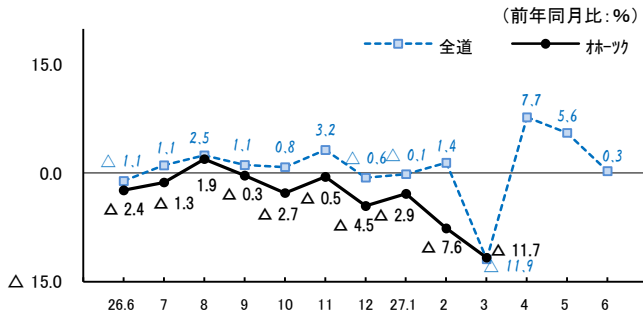


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(3月)◆

7か月連続で前年を下回っている

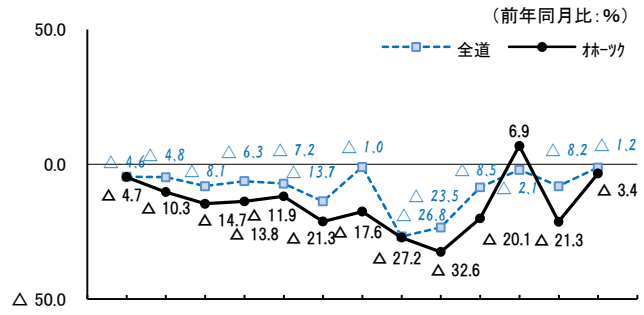


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(6月)◆

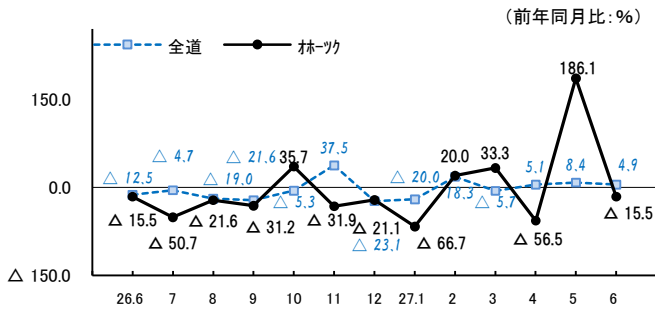
2か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数(6月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

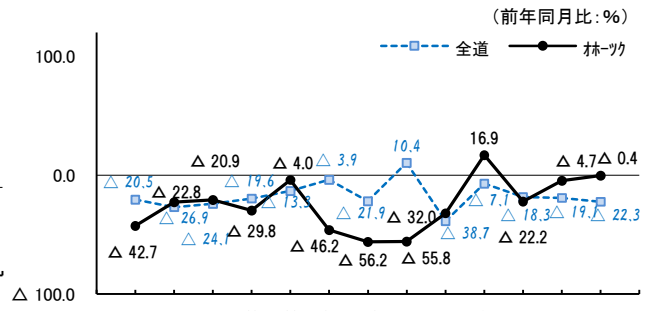


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(7月)◆

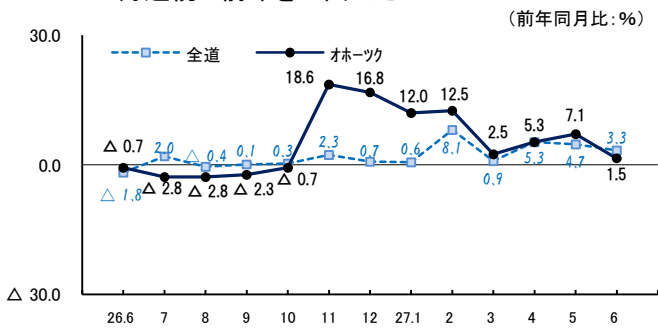
3か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)◆

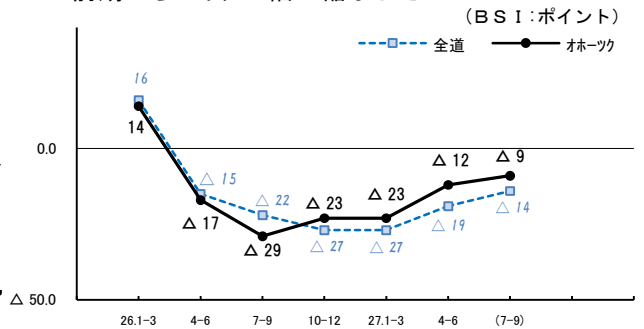
8か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



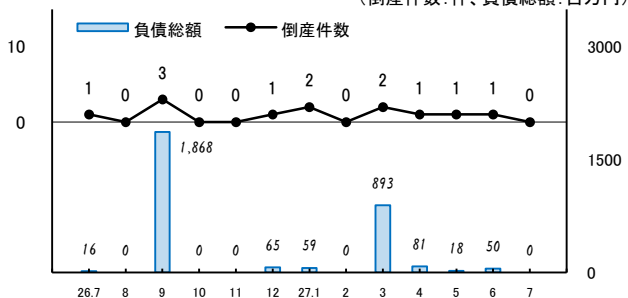
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

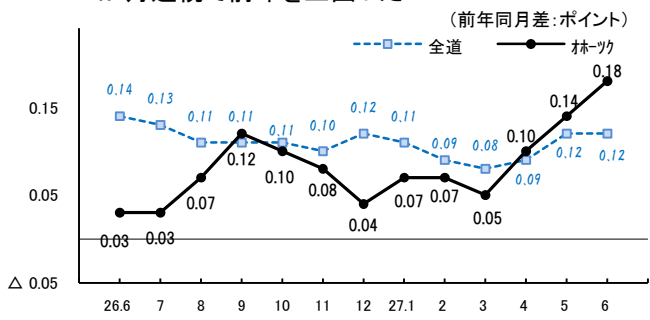
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(6月)◆

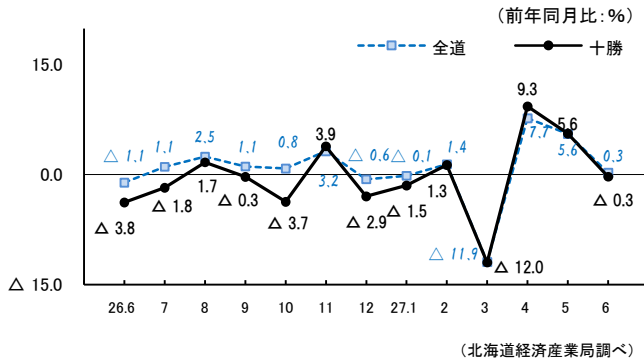
69か月連続で前年を上回った



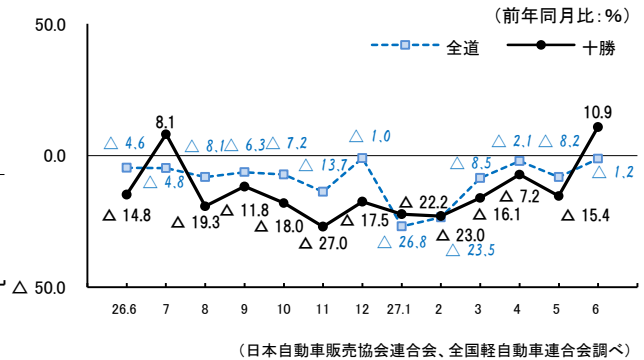
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

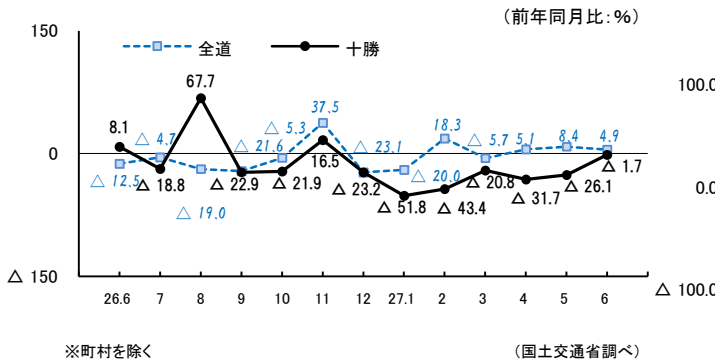
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (6月)◆ 3か月ぶりに前年を下回った



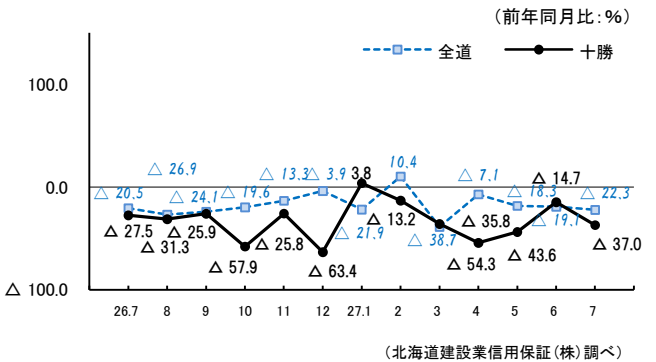
◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆ 11か月ぶりに前年を上回った



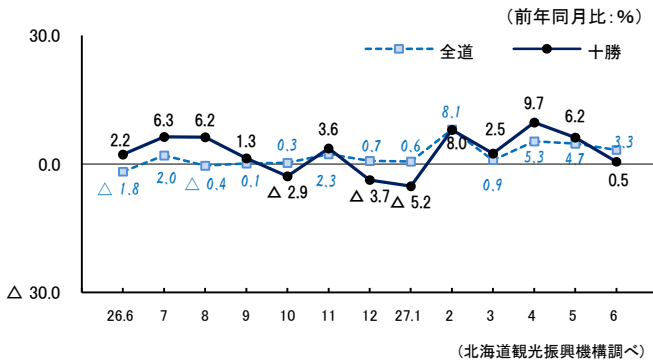
◆新設住宅着工戸数(6月)◆ 7か月連続で前年を下回った



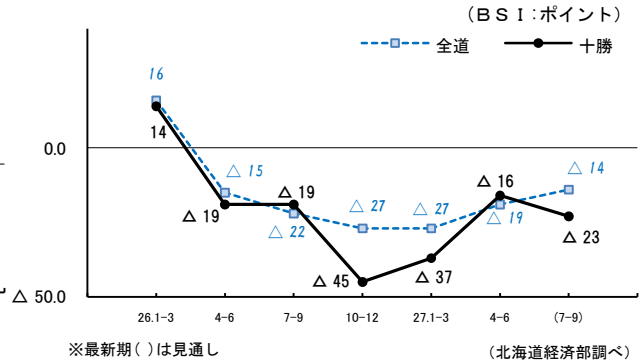
◆公共工事請負金額(7月)◆ 6か月連続で前年を下回った



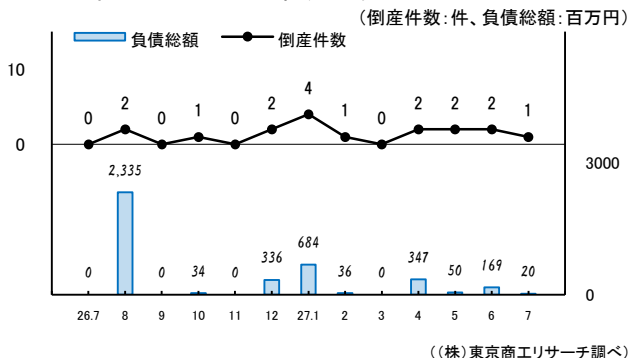
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆ 5か月連続で前年を上回った



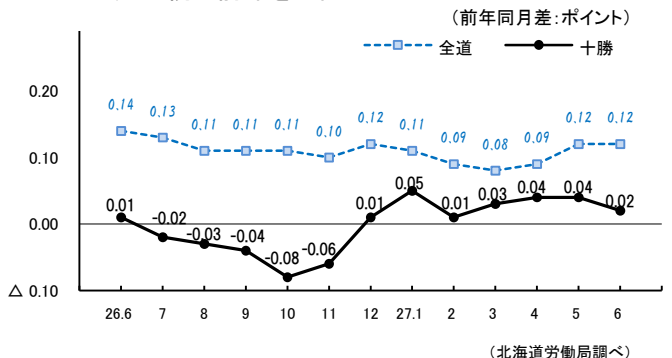
◆企業の業況感(4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(7月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



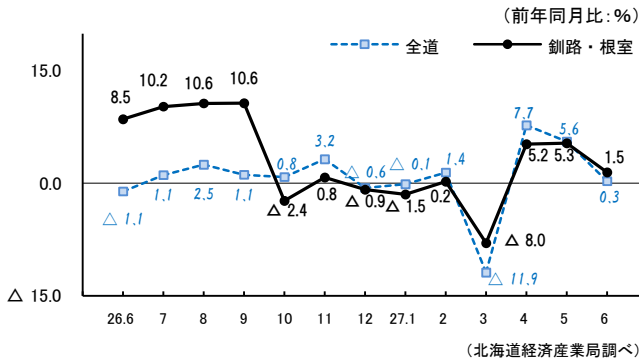
◆有効求人倍率(6月)◆ 7か月連続で前年を上回った



■釧路・根室圏

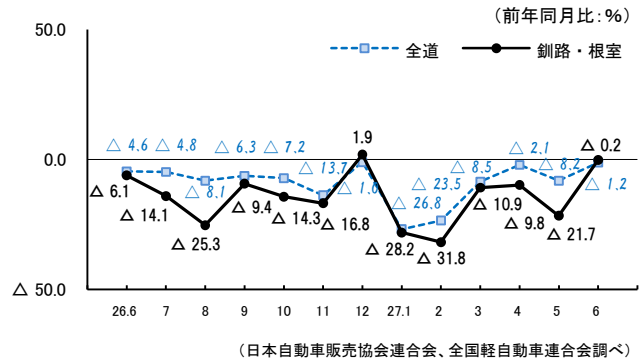
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (6月)◆

3か月連続で前年を上回った



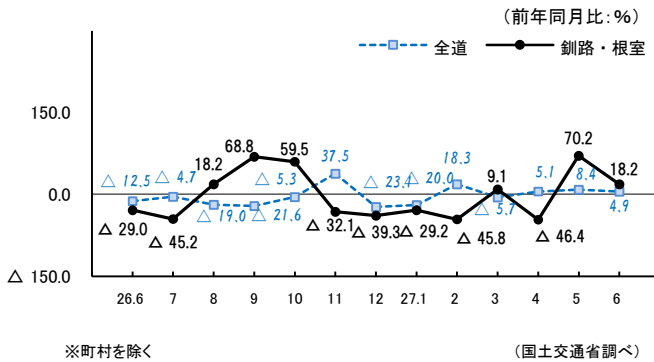
◆新車登録台数(乗用車) (6月)◆

6か月連続で前年を下回った



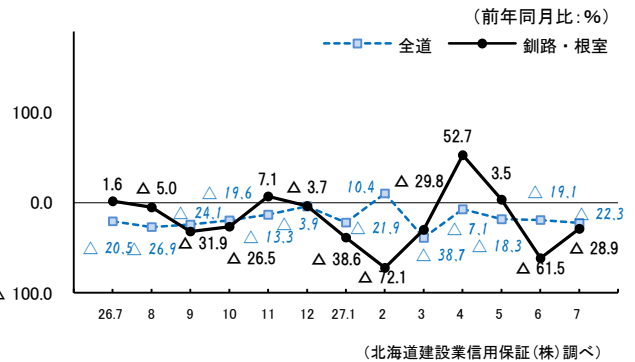
◆新設住宅着工戸数 (6月)◆

2か月連続で前年を上回った



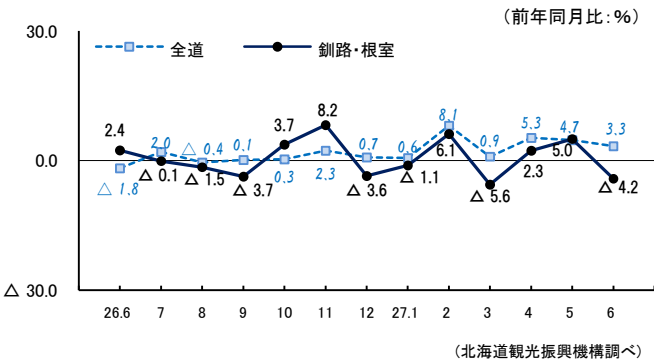
◆公共工事請負金額 (7月)◆

2か月連続で前年を下回った



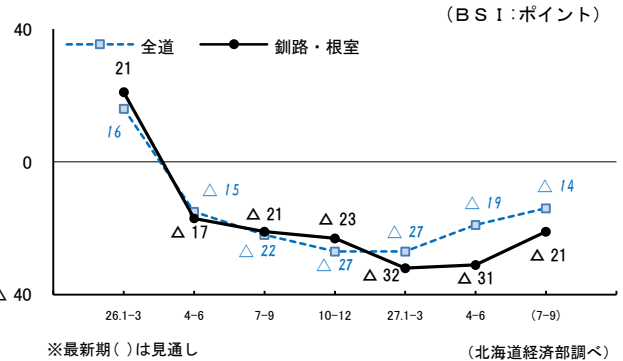
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)◆

3か月ぶりに前年を下回った



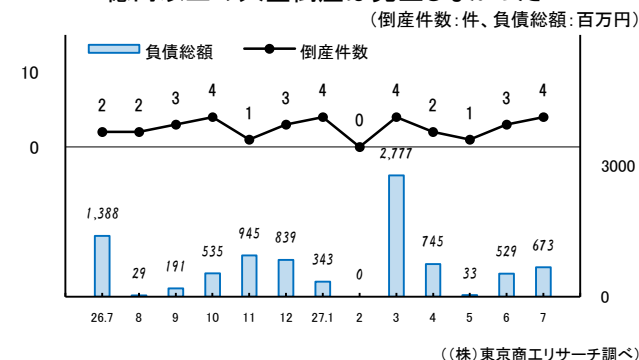
◆企業の業況感 (4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



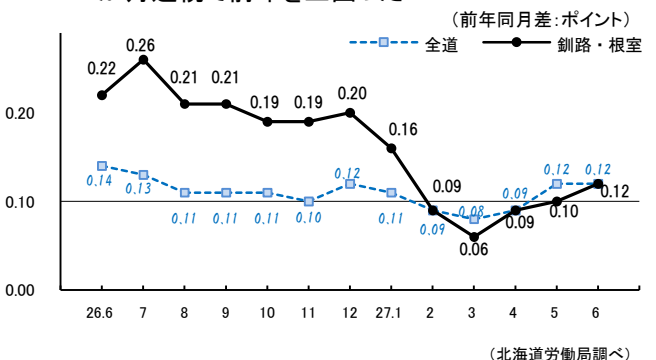
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (6月)◆

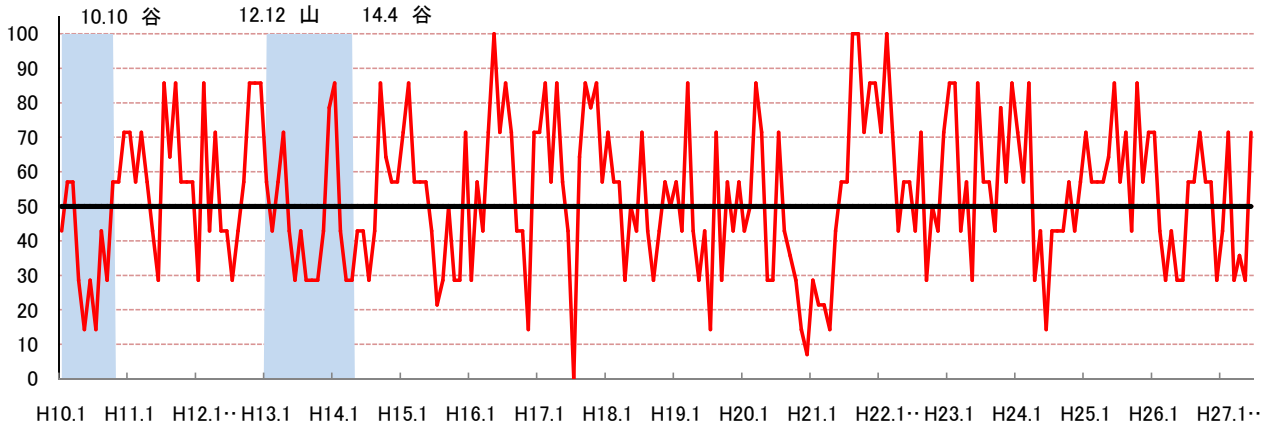
67か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		26/ 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	生産指数(生産財)	-	+	-	+	0	+	-	+	+	+	-	r-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
	新設住宅着工戸数	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	拡張系列数	1	3	1	4	3.5	5	3	2	2	2	4	4	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	14.3	42.9	14.3	57.1	50.0	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	r57.1	p71.4
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	r-	p-
	出荷指数(生産財)	-	+	-	+	+	+	-	-	+	+	0	r-	p+
	大口電力使用量	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+
	百貨店販売額(既存店)	-	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	r+	p+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	-	+	+	+	-	-	+	-	-	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	r-	p-
	拡張系列数	2	4	4	5	4	4	2	3	5	2	2.5	2	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	28.6	57.1	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	r28.6	p71.4
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-
	消費者物価指数(総合)	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	-	-	+	-	+	+	-	-	+	+
	生産指数(資本財)	+	-	-	-	-	-	-	+	-	+	-	r+	p+
	拡張系列数	4	1	0	1	0	1	0	4	3	3	0	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	r40.0	p50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。Pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ改善テンポにばらつきもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、このところ持ち直しの動きが見られる。
- ・輸出は、このところ弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっている。
- ・企業収益は、総じて改善傾向にある。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっているが、一部に改善の兆しもみられる。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクや金融資本市場の変動に留意する必要がある。

内閣府月例経済報告(平成27.8.26)から抜粋>

最近の経済動向
平成27年8月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>